

# 考えられる学校施設の 跡地利用の例

※全く決まったものではなく、この他にも  
多くの利活用法の可能性が  
あるかと思  
います。

廃小学校（施設）を活用した  
サテライトオフィスについて

## 概要

- 小学校跡地において、サテライトオフィスを整備することにより、空き施設の利活用及び移住者の増加につなげていく。
- 教室の改修、高速インターネット回線の導入を行うことにより、サテライトオフィスを整備していく。
- 小学校ならではの広さを活用することで、都市圏のサテライトオフィスではできない、広いワークスペースの確保や講演会・研修会等が可能となる。

# 総合戦略との関係

## 1. 基本目標

- 人を惹きつける魅力の発信（観光・広域・住みやすさ）
- 2. 具体的な施策
  - 移住・定住の推進（空き家や空きスペースを活用したワーキングスペース、ワーケーション、サテライトオフィスの推進）
  - サテライトオフィス、テレワーク等を活用した新しい人の流れの創出

## 運営について

- 各教室ごとに企業と契約し、使用料を徴収する。
- 長期の利用だけでなく、短期でのお試しも可能とし、施設の利用率の向上につなげる。
- 消耗品・弁当等の販売も行い収益の確保を目指す。

## +@ (他に例のない取り組み)

- 一部教室については特定業種向けのワークスペースを設けるのはどうだろうか？
  1. アニメーター向けワークスペース
  - アニメーターの作業がしやすい環境を整備
  - 作画に必要な消耗品については売店にそろえて置き、その場で購入可能とする。
- 2. 広告会社・youtuber向けワークスペース
- サテライトオフィス内に写真撮影・動画撮影に適したスタジオの設置

# 活用可能見込みの補助金

1. 情報通信利用促進支援事業費補助金地域サテライトオフィス整備推進事業  
業※令和3年度分募集終了

① 対象 サテライトオフィスが整備されていない地方公共団体

② 補助率 事業費の1/2補助（補助上限額2,000万円）

2. 地方創生拠点整備交付金

① 対象 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体

② 補助率 事業費の1/2補助



## 課題（その1）

- サテライトオフィス自体の需要が不明確  
⇒ 歴史ある街並みと、海や山もある自然豊かな町でありながら、商店・病院も十分にあるため、立地としては良いと考える。しかし、サテライトオフィス自体の需要が未知数なため、調査が必要と思われる。
- 備品の再利用の困難性  
⇒ 利用者は大人となるため、学校机・椅子についての再利用が難しい



## 課題（その2）

- どこまで改修するか

⇒ セキュリティ面や防音対策等を小学校よりも強化する必要がある  
ると考えられるため、通常の改修よりも費用が掛かる可能性がある  
る。また、そもそも小学校自体がサテライトオフィスに適した施  
設かどうか不明。

廃小学校（施設）を活用した  
町営キヤンプ場について

## 概要

- 小学校跡地において、キャンプ場に整備することにより、空き施設の活用及び関係人口の増加につなげていく。
- グラウンドをキャンプ地として整備
  - 日中はデイキャンプやBBQ広場として利用、夜間は宿泊
  - 教室の改修、シャワー室への整備を行う
  - 残りの教室に関してはテナントor宿泊施設として整備を行う
  - 高速インターネット回線の導入を行うことにより、ワーケーションも行えるように整備していく。

# 総合戦略との関係

## 1. 基本目標

- 人を惹きつける魅力の発信（観光・広域・住みやすさ）
- 2. 具体的な施策
  - 移住・定住の推進（ワーケーションの推進）
  - 新しい人の流れの創出（キャンプを通じて関係人口の拡大を図る）

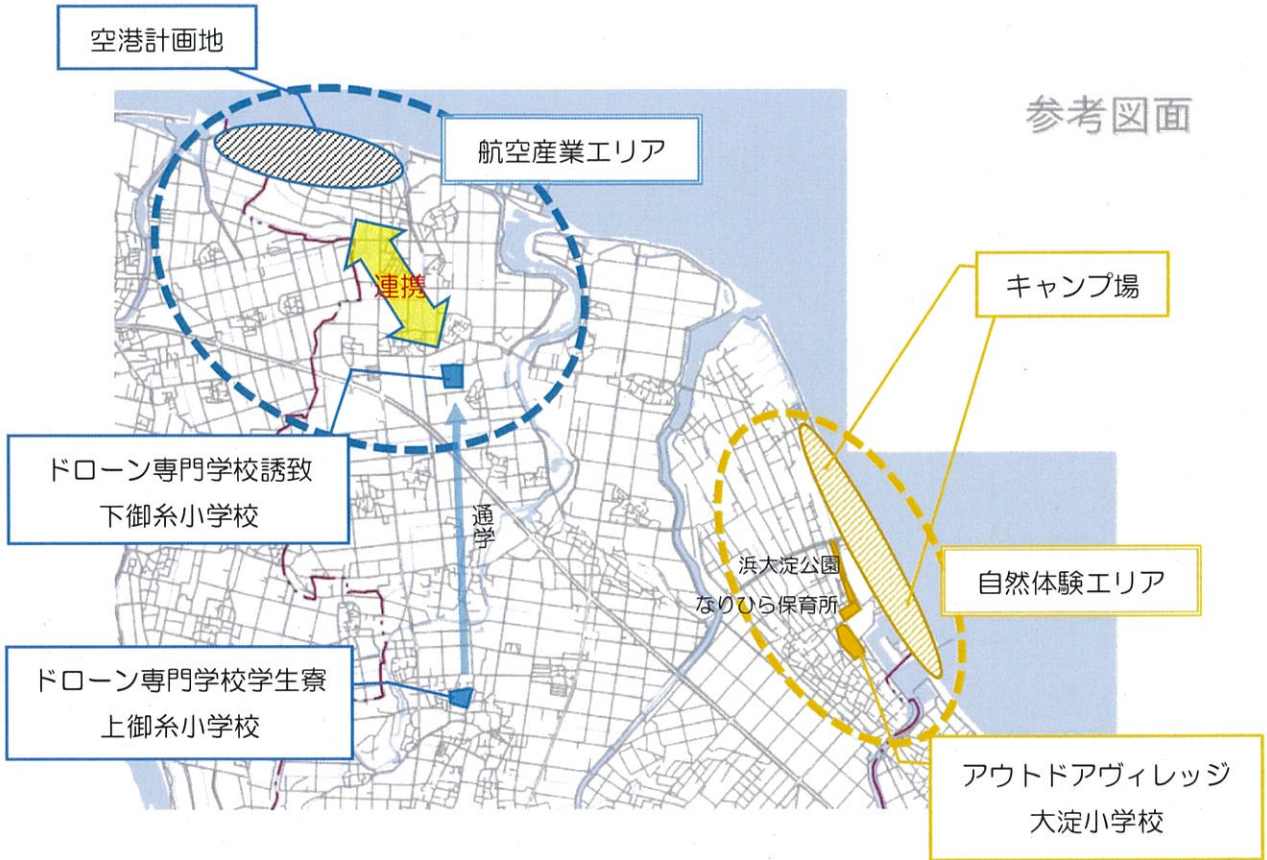
## 運営について

- グラウンドを区画割りし、使用料を徴収する。
- コインロッカーやシャワー室を完備し、使用料を徴収する。
- 特産品の販売やキャンプ用の販売も行い収益の確保を目指す。  
(松阪牛や米、海産物など)
- 教室はテナントとして貸し出し（アウトドア企業を誘致）

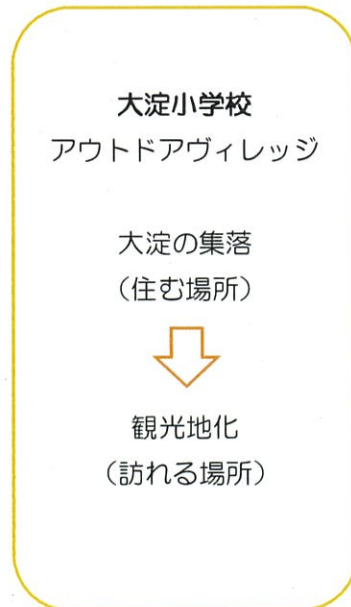
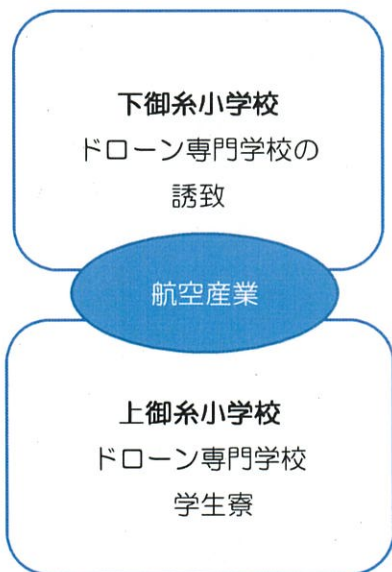
or 宿泊施設として利用

# 廃校活用提案

▽全体図



参考図面





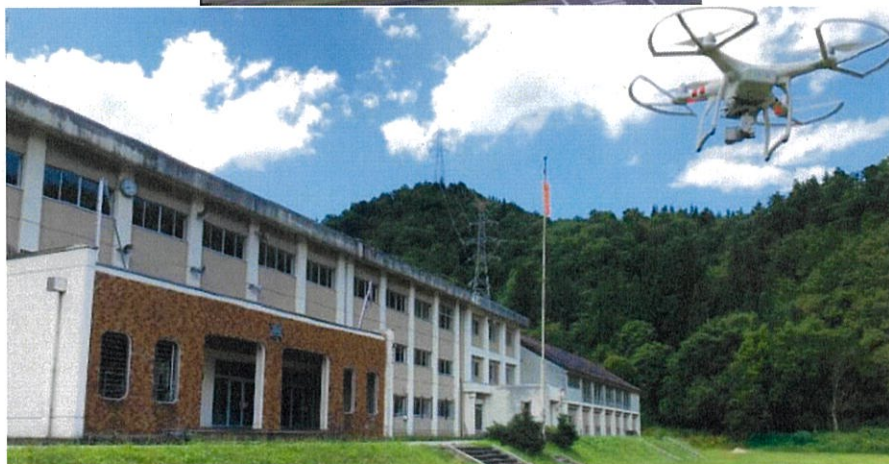
## 1. 下御糸小学校

下御糸小学校にドローン専門学校を誘致する。

ドローンは、空からの測量や監視をはじめ、明和町で盛んな農林水産や、建設、運輸、情報通信分野などでさまざまな利用方法が計画されており、ドローンの研究開発や性能試験の需要は益々高まっていくものと思われます。役目を終えた地域の廃校施設が、そのような将来産業発展の一役を担う施設に生まれ変わることで、廃校の地域住民の希望や期待をも再生することにつながるのではないのでしょうか。

子どもとともにドローン操縦体験やドローンプログラミング体験、空撮体験を楽しむ交流の場となっている事例もあり、今後、交流人口の拡大や地域住民の雇用創出による地域振興が期待されています。

下御糸地区には空港計画も浮上しているため、ドローン基地の設置、パイロットの育成等うまく連携を図っていき地域一体で航空産業のまちとして盛り上げることができるようではないかと思えます。





たかはぎし きみだ

# 茨城県高萩市 旧君田小中学校 ドローン操縦士養成教習所として活用

## ◆施設の基本情報

建築年度	1978（昭和53）年度
廃校年度	2016（平成28）年度
活用開始年度	2018（平成30）年度
改修にかかった費用	なし
改修に際して利用した国の補助金制度	なし
活用後施設名	高萩ユースフィールド
活用事業者名	株式会社茨城航空技術研究所 （無償貸与・有償貸与）
利用者数（/年）	約500名（目標）
主な利用者層	建築業や農業従事者、学生及びドローンファン等（想定）

## ◆施設の概要

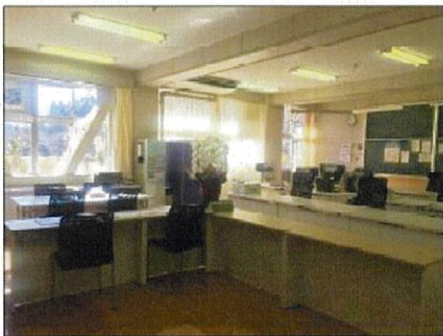
株式会社茨城航空技術研究所は、総合設備会社であるイガラシ綜業株式会社（本社：茨城県日立市）がドローン操縦士養成スクールを運営するため、新たに設立した会社である。スクールでは、校舎を座学会場に、体育館や運動場を屋内外の飛行場として活用するとともに、将来的にはAI（人工知能）やIOT（モノとインターネット）の技術を応用したドローン活用フィールドの研究開発を行う計画。また、2022年度までに約200名のドローン操縦士の育成を目指す。

## ◆廃校活用までの経緯

少子高齢化に伴う児童・生徒数の減少に伴い、2016（平成28）年度末に廃校となった。廃校後の学校施設利活用については庁内に検討委員会を設け（平成28年7月設置）検討を重ねるとともに、地域住民との意見交換も重ねた。検討の結果、持続可能な施設運営、管理の観点から民間活力の導入が重要であるとし、学校施設の利活用事業とその担い手となる事業者を公募（平成29年10月）した。応募があった中から、ドローンスクールの運営を提案した事業者を選定したところである。

↓ 廃校の面影を残した事務室、教室。

↓ 体育館でドローン飛行練習。



### 活用に成功した理由

小中学校施設としての役割を踏襲した事業（学ぶ場としての役割）であったことや、校舎のほか、体育館や運動場も一体的に活用する事業であり、学校施設全体の有効活用を図ることが期待できること、また、地域住民の雇用創出に寄与する事業であること。

### 活用決定までの課題・苦労したこと

少子高齢化が進行する地域の絆、地域コミュニティの核である小中学校施設の廃校には、地域住民から根強い反対があった。地域住民が心情的にも納得する廃校の利活用を行う必要があったため、庁内に検討委員会を設けるとともに、地域住民との意見交換を複数回実施した。

### 自治体の声

本市の山間地域の学校がドローン操縦士養成施設に生まれかわりました。市内外から多くの方が講習等に訪れることで、交流人口の拡大と地域振興に期待しております。

## ◆廃校活用のメリット

廃校施設は、敷地面積が76,021㎡と広大な敷地面積を有している。運動場だけで19,800㎡の広さを誇り、十分な飛行教習場所を確保することができる。また、座学会場、屋内飛行場も同一敷地内に有しているため、今後期待される建築分野等での利用を含めた豊富な教習メニューの導入が可能であり、より実践的スクール運営を図ることが可能である。

## 2. 上御糸小学校

上御糸小学校をドローン専門学校の学生寮として活用する。

住宅地に囲まれた上御糸小学校では、商業施設を誘致することは難しいと思われます。1で提案したドローン専門学校の誘致を考えると、県外からも多くの学生に通学していただくには宿泊施設（寮等）が必要となってきます。下御糸小学校には津波のリスクがあるため暮らすとなると懸念される学生も多いのではないかと考えます。そこで車で5分圏内である上御糸小学校を活用し、学生寮として再建することを提案します。



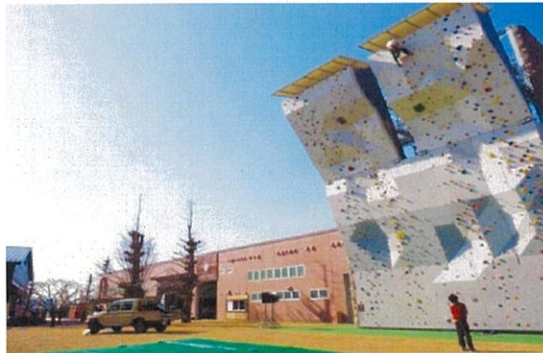
### 3 大淀小学校

大淀小学校にアウトドアヴィレッジを誘致する。

大淀小学校については海からかなり近い場所に位置しており、ロケーションについてはポテンシャルが高いと思われます。毎年多くの観光客がキャンプや海水浴で訪れているものの、「ついで」に寄る他の観光施設がないため、お金が落とされません。キャンプ場へ訪れる観光客の観光動線を増やすため、大淀小学校をアウトドアヴィレッジとして再建することを提案します。

日本に1つしかないアウトドアヴィレッジとは、アウトドアの魅力を体験・体感できる新しいスタイルの商業施設です。東京都昭島市にある施設は約 21,000 平方メートル(約 6,500 坪)の敷地にはアウトドアブランドの直営店やクライミングジム、ヨガスタジオなど、アウトドアが好きな人々をサポートできる要素満載のショッピングモールです。

ムーンビーチキャンプ場に訪れる方は自分でキャンプ用品を集め、本格的される方が多いと聞きます。そんな方々が興味を引く施設であり、「ついで」に立ち寄っていただけるような施設になると思われます。



宿泊施設

商業施設





## ＜その他の利活用法の例＞

- 町民用プール（特に上御系小学校）
- 地域活動の拠点もしくは多目的スポーツ  
⇒ 地域活動で「やってみたい」となった時「人がいない」「やれる場所がない」という部分があると思うので、それを解消する。
- 移住希望者の1年程度のお試し宿泊先（付近の耕作放棄地を提供しお試し農業とかと併せて）
- 脱出、ホラー等のアトラクション
- 貸しスペース
- 老人ホーム、介護施設等
- 防災備蓄倉庫兼役場支所
- 廃校ホテル（宿泊施設、廃校宿泊ツアー）
- 水族館（魚介系のレストランも併設）
- 明和町内文化・アート等を融合させたレストラン等複合商業施設
- 工場としての利用（小規模製品、食品など）
- 校舎については解体し、分譲地として販売
- 障がい者（児）リハビリセンター
- 不登校特例校 ⇒ スタッフは退職した教諭。県費で可能。地域との連携も実施し、コミュニティの活性化につながる。
- ヘルスツーリズム事業、若年起業者増加施策に関連させた、フィットネスインストラクター養成支援及び地域住民の健康増進  
（町はレッスン開講場所の提供をするので賃貸料を取る）

等々